奥さまレポート

補修課を訪ねて

聞く人　田林 弘子さん(八潮七丁目)
答える人　平川 正元　建設部長兼補修課長

今年の四月、大規模な組織改革により土木課、都市計画課、下水道課の現場作業を担当していた係とパトロール課を統合して、新しく「補修課」が生まれました。

今月は、生まれてまもないこの補修課を田林さんが訪ね、建設部長にインタビューしました。

田林　補修課は、どのような理由でつくられたのですか。

部長　今までは、建設部内の各課ごとに現場作業を担当していましたが、市民サービスの向上と適切な業務執行が出来るようにと、今年の四月から現場作業を一つにまとめた課になりました。

田林　具体的にはどのような仕事をしているのですか。

バス停留所に―「家庭の生ごみが」

部長　そうですね。分かりやすく言うと、道路・水路の補修や清掃、危険な箇所の応急処理などになります。

それと、公園やバス停留所などのごみの収集も行っています。

田林　四月からいままでで、何件ぐらいの処理をしましたか。

部長　四、五月分のまとめですと全部で六百十三件になり、四月が二百八十四件、五月が三百二十九件になっています。

特に目立つのは、バス停留所のごみ収集と水路のごみ収集の処理件数が多いことですね。

田林　仕事をしていて、苦労していることや困ってしまうことなどはありますか。

部長　道路や水路、公園などに投げ捨てられている、空き缶・空き瓶が非常に多いことですね。それにバス停留所や公園などに置かれている「くず入れ」に家庭から出る、生ごみが投げ入れられていることが、最近特に多くなっています。

ひらかわ 部長

田林　バス停留所や公園のくず入れに家庭のごみですか。

部長　はい。これらのごみは、犬や猫が袋を破り周囲がきたならしくなるばかりでなく、まちの美観をそこねる原因にもなります。生ごみなどは、決められた日に決められた場所に出していただきたいですね。

それと、公園や街路樹への薬品散布も補修課で行っています。

薬品の散布する時間は、午前四時から五時に掛けての早朝に行うのですが、やむをえず日中に散布する場合もありますので、ご協力をお願いします。

「おねがい」より―「する」心掛け

田林　補修課には、何人の方が働いているのですか。

部長　主に作業を担当する職員が十五人、事務を担当する職員が三人で合計十八人になります。

田林　十八人という限られた人たちで、それだけのことを処理するのは大変なことですね。

部長　効率良く処理するために、補修課で出来ることは直ちに処理し、期間や多額の経費が係るものは、担当課と連絡を取り合ったりしますので、日数を必要とする場合もあります。

たばやし ひろこさん

田林　私たち市民も「何んでもお願いする」というより「私たちの出来ることは、私たちでする」ように心掛けていかないといけませんね。

部長　そうしていただくと私どもも大いに助かります。

田林　町会などでよく下水路の清掃をしていますよね。その集めたごみなどの始末に困っているようですが、どうしたらよいのでしょうか。

部長　清掃をする日の一週間ぐらい前に、補修課へ連絡していただければ収集に伺います。

田林　お仕事大変だと思いますが、私たちも協力してまいりますので住み良い環境のまちづくりをお願いします。

部長　はい。分かりましたが、現在、通水時期に入っていますのでお子さんの水難事故には、十分気をつけていただきたいと思います。

八潮の文化史 (3)

郷土のれきし 225号

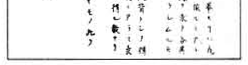
中根流の算士 幸田親盈

八潮の文化史上、代表的な人物は算学者幸田親盈であろう。その供養碑が中馬場妙光寺にある。

幸田親盈は酒井雅楽頭(前橋藩)の家臣中山親繁の子で、幼少のころ旗本幸田正信の養子となる。幸田氏は小田原北条家の奉行衆の一人大蔵政治を祖先とし、孫助継治の時に徳川家康に仕え、関ヶ原合戦(一六〇〇)に供奉し後鳥見役となり、幸田家は代々鳥見役の家柄となった。三代友之助(孫助)のころの寛永四年(一六二七)に八條領中馬場村を賜り一五〇石の地頭となった。

〈幸田系図〉
政治―継治―孫助―正信―親盈―親平

親盈は正徳二年(一七一二)六月十五日に父正信の家督を継ぎ、鳥見役として出仕するが、同三年に小十人、元文二年(一七三七)に組頭、宝暦二年(一七五二)に西城御広敷勤番を勤めて宝暦八年(一七五八)十二月八日六十七歳で他界する。


『八線表解義術意』
(東北大学図書館蔵)

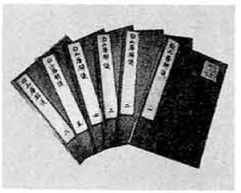
八代将軍徳川吉宗の享保年間ごろ、関流中根元圭は幕府の改暦事業に参画し、元圭の門人らもその事業に加わった。幸田親盈は元圭の師建部賢弘の門人であったが、暦算・天文暦を得手とした関係で賢弘の紹介で元圭の弟子となり、改暦事業を手助けした。親盈は、中根元圭の下で才を発揮し「数学を関流中根元圭に受けて、大いにその奥に通ぜり。人呼んで、中根流の算士と曰う。その名当時に振う。門弟に幕臣多し。」(遠藤利貞遺著『増修日本数学史』)とまで名声を博した。

〈関流流派〉
関孝和―建部賢弘―中根元圭―幸田親盈

(中根源流)

(最上流)
入江脩敬
今井兼庭―本田利明―会田安明
千葉歳胤　　大原利明

親盈は門弟に恵まれ、入江平馬脩敬・今井官蔵兼庭・千葉陽生歳胤などの弟子をもち、そして『八線表解義術意』などの著作物二十一巻を著している。幸田親盈の中根流の算学は八潮市域に伝播しなかった。後最上流大原利明のころ、利明の門人が八潮市域にも何人かあらわれ、間接ながらその学業が伝わった。


『白山暦解儀』
(日本学士院蔵)

(仮称)歴史民俗資料館着工
来年11月オープン予定

「(仮称)八潮市立歴史民俗資料館」の建設工事が、6月10日、南後谷地内の建設地で着工となりました。

建物は、鉄筋コンクリート造り日本かわら・緑青風鋼板一文字ぶき三階建てで、建築延べ面積は約2049平方メートル(1階=約909平方メートル、2階=約771平方メートル、3階=約369平方メートル)になる予定です。

建物内部は「水と生活」をメインテーマに、閲覧室、学習室、常設展示室、企画展示室、視聴覚講座室を設置し、三階は保存フロアーとして古文書や美術品を保存、収蔵します。

また、「水と生活」を基調とする川と用水の生活環境を再現させるため、庭の中心をミニチュアの回遊式築山泉水庭園にする予定です。

開館予定は、昭和64年11月です。

【写真はくわ入れする鈴木市長】

公害防止優良工場に
横山製作所を表彰

毎年行われる公害防止優良工場の表彰が、6月10日市役所で行われ、今年は横山製作所(木曽根786・コンピューター用品製造)が選ばれました。

【写真右から】鈴木市長、横山欽二代表取締役
秋山正夫八潮工場長、福岡助役

教育相談 82
子育てで思うこと

最近、子連れ出勤をするアグネス・チャンさんの育児をめぐり、賛否両論がマスコミを賑わしたことはご存じのことと思います。

女性の社会的自立と家庭生活の間には、さまざまな問題を抱えていることは事実ですが、この議論の背景には、子育てについての関心の高さがあるのではないでしょうか。

親は子供に期待をし「良い子」に育って欲しいと思うのは世の常ですし、子を思う親心には心を打たれます。

しかし、親の期待が多すぎると、かえって逆効果になるのも世の常です。親の考えた理想に沿って、「こういう人間に育てよう」とすると、なかなかうまくいかないものです。そのためには次のことに気を付けてみるのも良いと思います。

1　子供の生き方を尊重していますか

小さい時はいざ知らず、年齢が増すにつれて、子供は自分から進んで物事を判断し、実行していきます。臨機応変に問題を解決していく力を身に付けていくためにも普段から子供の考えを大切にしたいものです。

2　親の夢を託しすぎていませんか

自分の生き方を振り返ると、多くの悩み、挫折を味わったことが思い起こされる方が多いでしょう。それだからこそ、子供には味わわせたくないと思うのが親心ですが、はたして子供のためになるでしょうか。自分の人生は自分で切り開いていく、人生の目標は自分でつくっていくことを大切にしたいものです。

3　子供に教え込もうとすることが多くありませんか

この子は我が子である。だからこそ、責任をもって育てたい。世間から後ろ指をさされるような子にはしたくない。これも親心です。その余り、自分の思い通りに教え込む事が多すぎると、かえって子供の心はみずみずしさを失ってきます。

お母さん自身が「ゆとり」を持って子供に接し、子供の言い分を聞くようにしましょう。

小言の種はたくさんあります。それをどうするかはお母さんの子育ての知恵にかかっています。

(専任教育相談員　加藤)

幸田親盈の著作物

○白山暦解儀　七巻(刊行年未詳)
○八線表解義術意　一巻(享保十七年刊)
○推積年日法術　一巻(享保十九年刊)
○天文大成　十一巻(宝暦年間頃刊)
○素問入式運気論辨外(注)　一巻

注　『算話拾澤集』に幸田親盈著と紹介されているが、筆者はその著作物を未確認である。